

ポスタル便り

第2号

2026.9

一般財団法人ゆうちょ財団 ポスタル部

～手書きで想いを伝える大切さを子供たちへ～

近年、スマートフォンやタブレットの普及によるデジタル化の進展に伴い、コミュニケーションの一つである手紙・はがきを書く機会は減少しています。手書きのはがき・手紙で想いを伝えることの素晴らしさを知っていただき、手紙・はがき文化の一層の普及・振興につながるものとして、2010年(平成22)年から、「名言はがき 短歌はがき 俳句はがき 川柳はがきコンクール」を実施しています。

この度、ゆうちょ財団では、ここ近年、応募数の多い文京区立窪町小学校の高橋先生を訪問しお話を伺って参りました。

《文京区立窪町小学校》

全校児童約 1,000 人、1 学年 5 クラスで、今年創立 100 周年を迎える歴史のある人気の高い小学校です。

「教育水準」「教育環境」「地域力」が高い次元で整っていることが人気の高い理由です。

教育方針：児童の学習意欲は高く、授業では対話と探究を重視しています。また、児童は日頃から進学について深く考えている様子も見られます。

教育環境：茗荷谷駅徒歩 3 分の好立地ながら、安全で静かな住宅街

地域力：小学校の近くにお茶の水女子大学、筑波大附属高校、小石川植物園などがある文教地区の中心



窪町小学校100周年マスコットキャラクター



かやの木

たくましく、
まっすぐのびろ、
高く高く



水辺の馬

自分から進んで学び、
意欲をもって生きよ



菊

自分の良さを輝かせ、
思いやりの心をもって共に
生きよ

はがきコンクールの担当をされている高橋先生に聞きました

窪町小学校応募状況等

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
応募数	133	284	167	307
入 賞	1	4	2	6
佳 作	4	4	7	9
団体賞	団体賞受賞	団体賞受賞	団体賞受賞	団体賞受賞

○ はがきコンクールの取り組みを始めたきっかけを教えてください。

供覧で回ってきたコンクールの募集チラシを見たのが
きっかけで取り組みを始めました。
子どもたちは、長い文章を書くことにはあまり気が進
まない様子も見られます。また、誰かに伝えたいこと
を文章にする機会も以前ほど多くないのではないかと
感じます。
短い文章の俳句、短歌なら、手軽に始められるかなと
思いました。



○ どのような授業または活動において指導されていますか

国語科の授業の中で取り組んでいます。
学年全体での取り組みとするため、年度当初に他の先生と調整
し、カリキュラムに組み込んでいます。
宿題となると、子どもたちの放課後の負担が増えてしまうため、
授業の中で終わらせ、完結するようにしています。
もう少し考えて仕上げたいという児童は持ち帰ることもあります。
また、事前に告知をしていると子供たちも喜んでのってきます。
最近では、子どもたちがコンテストを企画し、言葉の力を競い合うなど、
楽しみながら言語活動に親しんでいます。



○ 他のクラスの先生との連携はどのようにされていますか

各学期の始めに年間計画や指導の進め方を確認し、共通理解のもとで教育活動を進めています。また、毎週の学年会議において進捗状況を共有し、必要に応じて改善を図っています。

○ コンクール入賞者へのお知らせはどのようにされていますか

全校朝会を通じ全校児童前で表彰しています。

卒業生は、電話連絡したうえで、賞品を取りに来てもらった際、校長先生から渡してもらっています。

○ 団体賞の賞品(クオカード)はどのように活用されていますか。

子ども達と相談しながら、学習に必要なものの購入に活用しています。

○ 苦勞されていることはありますか

苦勞というのはありませんが、何でも応募する時は、親御さんの了承なしではできないので、親御さんに一筆かいていただいています。

また、この学校では定着してきましたが、消極的な先生がいるのも事実です。はがきの書き方を知らない児童もあり、郵便番号欄を見て「ここは何を書くの？」と聞かれたときは驚きました。しかし、そうした実態が今の子どもたちにはあるのだと感じました。

○ コンクールに応募して良かったことは何ですか

俳句や短歌を通して、自分が感じたことや感動したことを短い言葉で相手に伝えられることを学び、言葉のもつ力に気付いてくれたことが良かったです。

また、友達の表現や取組の様子を見て、よりよくしたいと、意欲を高める姿にもつながっているように感じました。

日頃の評価とは違う形で、はがきコンクールの有名な審査員に評価されることは子どもたちにとって喜びはもちろん自信にもつながっていて、親御さんにとっても大きな喜びとなっています。



俳句、短歌を通じて言葉に想いをのせていくこのはがきコンクールは大変ありがたいです。

編集後記

今の子供たちは、自分の家の住所が言えないこともあるということに驚きました。プライバシーの観点から親御さんも教えないようです。

また、はがきの郵便番号欄を見ると「ここは何を書くの?」と聞くほど郵便番号というのを理解していないのが現状のようです。このような子どもたちに、はがきの書き方の指導されるのは大変だと思いつつ、手書きでの想いを伝えていくことの大切さは、今後も指導して行ってほしいと感じました。